## 視聴にあたっての注意事項

- 配信動画および資料の著作権は横浜市リハビリテーション事業団が保有します。
  動画および資料の無断転載、複製、転用、販売等の二次利用することは固く禁じます。

基礎講座①

# 発達障害ってなんだろう？

## ～診断の意義について～

横浜市リハビリテーション事業団　心理士

## 発達障害とは

どんなことが心配・気がかりですか？

## よくあるご相談

- ☐ 言葉が遅い／よくしゃべるが一方的
- ☐ 落ち着きがない
- ☐ 思い通りにいかないとカンシャクになる
- ☐ 集団参加が苦手／興味がないことはしない
- ☐ 活動や気持ちの切り替えが苦手
- ☐ 勝ち負けへの執着、“１番”へのこだわり
- ☐ 環境の変化が苦手・行事が近くなると園や学校に行き渋る
- ☐ 生活面：トイレトレーニングが進まない、偏食

## よくあるご相談

- ☐ 言葉が遅い／よくしゃべるが一方的
- ☐ 落ち着きがない
- ☐ 思い通りにいかないとカンシャク
- ☐ 集団参加が苦手／
- ☐ 活動や気持ちの
- ☐ 勝ち負けへの執
- ☐ 環境の変化が苦
- ☐ 生活面：トイレトレーニング

“発達障害”？

## 発達障害とは…

脳の機能的な問題により、

- ・全般的に発達の遅れがある
  （言葉、理解力、遊び、作業のスピード、生活スキルなど）
- ・分野によって発達の偏りがある（発達の凸凹）

## 原因は？

生まれつきの脳の特性で、
脳の機能に原因があると考えられています。

育て方や環境が原因ではありません。

## 発達障害をどう理解したらよい？

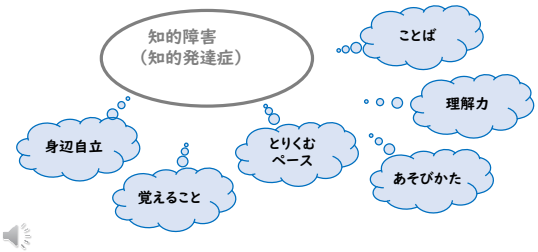
発達特性の表れ方は成長・発達に伴い
変化しながら、
特性そのものは大人になっても持ち続ける

➡ 社会で困らずに生活するために
“支援が必要な状態”として理解する

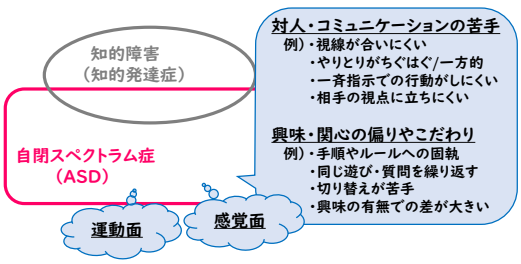
## 発達障害の分類

知的障害、自閉スペクトラム症、
ADHD,学習障害　など

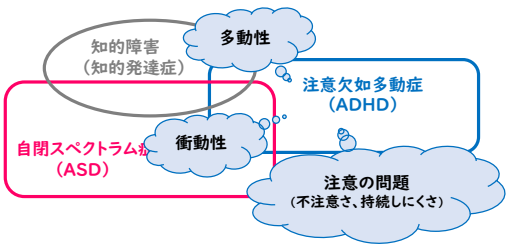
## 発達障害（＝神経発達症）のいろいろ



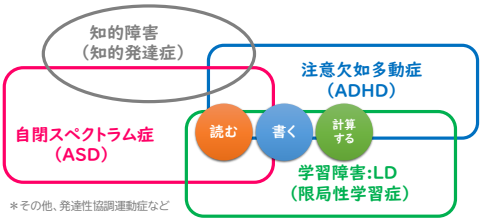

## 発達障害（＝神経発達症）のいろいろ




## 発達障害（＝神経発達症）のいろいろ



## 発達障害（＝神経発達症）のいろいろ




## 診断について

診断とは？ なぜ診断をするの？

## どうやって 「診断」 するのか？

1. 発達特性の見極め
   - 発達経過の聞き取り
   - 直接行動観察
   - 発達の検査（主治医の判断で必要に応じて）
2. 社会的不適応の存在

## 「診断」することの意義は？

診断名＝子どもを理解するための手がかり

- 行動の理由や対応を考えるヒントが得られる
- 共通のキーワードとして支援方針を共有できる
- 必要なサービスを受けやすくなる
- 不適応が生じないよう、予防的に関われる

## 診断がついたら

これからのこと・『療育』とは？

## 「発達障害」に、ときにある誤解

（×） 発達障害と診断されたら、将来、自立できない
（×） 専門療育に通わなければいけない
（×） 早期療育しないと手遅れになる
（×） 早期療育をすれば、発達障害は治る
（×） できるだけ早く、頻度多く療育機関に通った方がいい

## 発達障害のある子どもの“育ち”の目標

- その子なりの自立
- 特性を持ちつつも、健やかに育つこと（“持ち味”）
- 健全な心の発達：安心・安定した気持ちでいられること
- 社会的困難を最小限に、幸せに暮らしていくこと

＊ 二次的な問題の予防
自信喪失、自己肯定感の低下、被害的な認知、イライラ、
攻撃性、孤立、引きこもり・・・

## 「療育」とはなにか？

つまり… “治すこと”が目的ではない

・本人のペース・スタイルで成長・発達することが前提
・わかりやすく、環境を整える（生活の中にとりいれる）
・わかりやすい存在になる
（子どもの理解者・通訳者・代弁者・モデル）

## おすすめの講座

発達について、
療育・お子さんに合わせた
対応について
もっと知りたい方へ

・基礎講座②
「発達や対応の基本について」
発達を見る視点（スピード、凸凹）や、
発達に合わせた対応の考え方

・基礎講座③
「日常生活の対応の工夫」
“氷山モデル”に沿って行動の理由
を考え、日常の中での工夫について

基礎講座②

# 発達や対応の基本について

横浜市リハビリテーション事業団　心理士

基礎講座②
発達や対応の基本について

## 目次

1. 健やかな発達のために
2. お子さんの素質を知るために
～発達のスピードと偏り（凸凹）と対応のポイント～

基礎講座②
発達や対応の基本について

## 目次

1. 健やかな発達のために
2. お子さんの素質を知るために
～発達のスピードと偏り（凸凹）と対応のポイント～

## 健やかな発達のために

・人は生まれ持った素質と、環境との相互作用で発達していきます。
・植物に例えると・・・
※生まれ持った素質→“たね”
※環境→“水や日の光”

・“たね”の種類によって、必要な環境（刺激の種類や量）は異なります。

## 健やかな発達のために

例えば・・・
・さぼてんは日の光をより必要とし、こけ は水分をより必要とします。
・量も、“必要だから多ければ多い方が良い”という事ではありません。
・水も日の光も、その植物にとって多すぎると枯れてしまいます。

## 健やかな発達のために

お子さんそれぞれで、合う刺激や量は異なる

例：友達同士の関係から学ぶ／自分のペースでじっくり学ぶ
・歩き始めたお子さんに歩かせすぎると…
・大人とのシンプルなコミュニケーションがわかりやすい
お子さんに子ども同士での関わりを求めすぎると…

➡その活動自体が嫌いになってしまうリスク

## 健やかな発達のために

・適した環境（刺激の量や質）
・持って生まれた素質にあった学び
⇒その人らしい素敵な花を咲かせます。

➡ お子さんの素質を知る事が、健やかな発達への第１歩です

基礎講座②
発達や対応の基本について

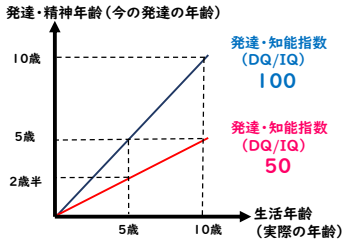
## 目次

1. 健やかな発達のために
2. お子さんの素質を知るために
～発達のスピードと偏り（凸凹）と対応のポイント～

## お子さんの素質を知るための発達の視点

・スピード
・偏り（凸凹）

## 発達のスピード




<対応のポイント>

生活年齢ではなく
発達・精神年齢
（今、わかること）
に合わせることで
学びやすくなる。

## 発達のスピードに関係する医学診断

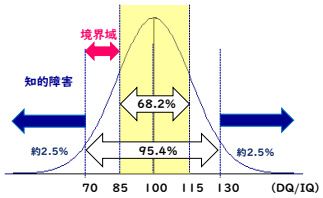
⇒知的障害（知的発達症）

全般的な知的発達の遅れがある
（言葉、理解、遊び、作業スピード、生活スキルなど）

※発達・知能指数（DQ・IQ）だけでなく、社会生活上の適応も加味して判断します。

## 発達・知能指数（DQ/IQ）の分布

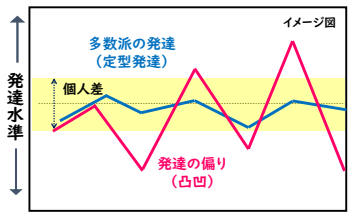
一般的な知能検査の場合




発達のスピードへの福祉サービス
愛の手帳（療育手帳）の判定
※横浜市の場合

| | |
|---|---|
| （～91） | ASDの診断があれば B2が取得可能 |
| ～75 | B2（軽度） |
| ～50 | B1（中度） |
| ～35 | A2（重度） |
| ～20 | A1（最重度） |

## 発達の偏り（凸凹）




<対応のポイント>

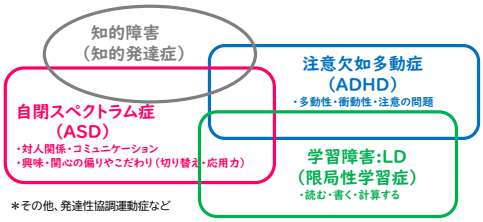
わかり方や感じ方の違い
（=「発達スタイル」の違い）
に合わせた学びが大事
（ex. 視覚＞耳情報
イメージ有＞無 ）

## 発達に偏り（凸凹）のあるお子さんへの対応のポイント

※周囲に理解されづらく、無理を強いられること等からストレスを抱え、二次的な問題が起こりやすい。二次障害の予防のために、

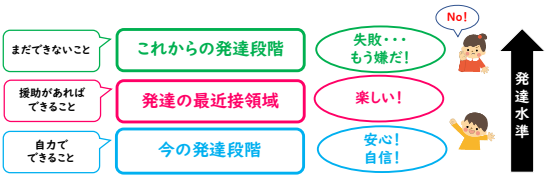
- わかる・安心の環境を保障（=環境調整）
- 周囲の理解者・サポーターの存在が重要

## 発達の偏り（凸凹）に関係する医学診断
## 発達障害（=神経発達症）のいろいろ




＊その他、発達性協調運動症など

## 発達の“最近接領域”という考え方




発達を見極め、“今の最近接領域”を中心に課題設定・日常生活を！
※凸凹の場合、領域によって“今の発達段階”が異なります

## まとめ

- お子さんに合う刺激・量で、健やかな発達を促す
- お子さんの素質を知る視点は
  ①発達のスピード　②発達の偏り（凸凹）
- 上記を踏まえた“今の発達段階”に合う課題設定

→ ・学ぶこと・コミュニケーションの意欲
・人への信頼
＊二次障害の予防

## おすすめの講座

発達について、
療育・お子さんに合わせた対応について
もっと知りたい方へ

- 基礎講座①
  「発達障害ってなんだろう？」
  発達障害とは？どうやって診断をするの？等、発達障害にまつわる疑問にお答えします。
- 基礎講座③
  「日常生活の対応の工夫」
  “氷山モデル”に沿って行動の理由を考え、日常の中での工夫について

療育講座でも、「自閉スペクトラム入門」「ことばの発達と発音の習得」等ご用意しています。

基礎講座③

# 日常生活の対応の工夫

横浜市リハビリテーション事業団　心理士

## こんなことはありませんか？

## 対応を考える際の3ステップ

【STEP①】 行動の理由を考えましょう

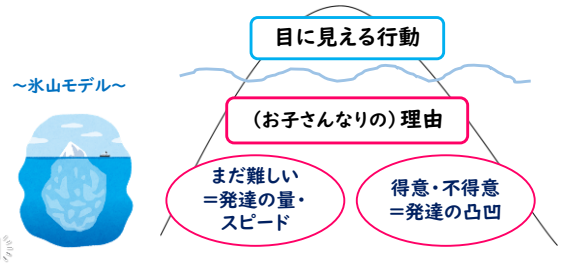
【STEP②】 優先順位をたてましょう

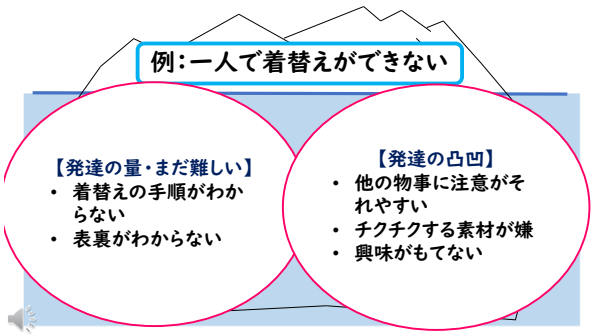
【STEP③】 対応を工夫しましょう

## STEP①
## 行動の理由を考えましょう

『氷山モデル』について

## STEP①行動の理由を考えましょう

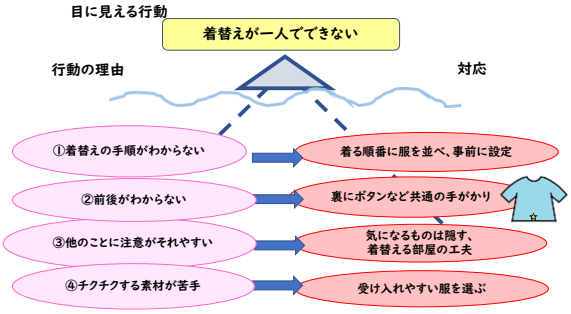



## STEP②
## 優先順位を整理しましょう

## STEP③
## 対応を工夫しましょう

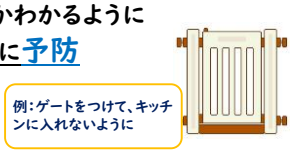
3つの対応のコツについて




## 対応のコツ①

**【環境を整える】**

- ぱっと見て何をするかわかるように
- 不適切な行動を事前に予防




## 対応のコツ②

**【同じやり方で】**
**【具体的に＆肯定的に】**

物事の手順をルーティン化

例：着替える順番に
下から置いている

## 対応のコツ③

**【わかりやすいコミュニケーション】**

- 視覚的な手がかりを活用
- シンプルな声掛け＋見せる関わり

**対応を工夫すると…**

**お子さんの「わかる！」に繋がる**

**安心感・達成感**
**適切な行動 の獲得**

おすすめの講座

事例を通して
具体的な対応・工夫を
知りたい方へ

・療育講座『自分のことは自分で』
…トイレ、食事など身の回りのことを教えていく時のポイントを具体的にお話しています

・基礎講座②
「発達や対応の基本について」
発達を見る視点（スピード、凸凹）や、発達に合わせた対応の考え方

55